## 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

## 2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(3/7)

ながさき海洋・環境産業拠	総合 評価 (IとIIとII を1:1:2の割 合で計算)	の進捗	II 支援措置の活用と 地域独自の取組 の状況	Ⅲ 取組全体にわた る事業の進捗と 政策課題の解 決	総合評価に係る専門家所見(主なもの) ・造船業の集積のある同県で、船舶の環境対策関連と
点特区(長崎県、長崎市、佐世保市、西海市)	4.0	5. 進内高・は 111 と 1	サナヤ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・		海洋エネルギー関連の2面から、その集積をさらに発展させようとする試みで、造船市場が厳しいなか、全ての指標で目標を達成できたことは合理的な指標設定とその計画的な推進によるものと評価される。 ・地域独自の取組みも活発に行われている。 ・今後の日本の重工業をけん引するイノベーションにつながる可能性がある分野といえ、さらなる取り組みの活性化が期待される。 ・海洋エネルギーについては、他の再エネと同様、規模拡大とともに域外事業者の参入可能性が高くなることが予想されることから、地域活性化へ向けて、本特区制度を活かし、参入する事業者に対して、地元企業の参画や連携を促すしくみが期待される。 ・燃料電池船舶のFS事業等の取り組みが具体の事業に展開することが期待されるが、金融施策等具体のボトムアップのアクションを拡げることなどを検討いただきたい。